

# \*\*\* 今日の健康(4月)\*\*\*

## < スギ花粉症を対象とした減感作療法(アレルゲン免疫療法)その1 >

スギ花粉舌下液「シダトレン®」の国内での製造販売が承認されました。シダトレンは国内で初めて承認された、舌下に投与する減感作療法薬であり、従来から施行されてきた皮下注射による減感作療法と比べ、自宅での服薬が可能であり、注射による痛みもなく治療ができることなどが特徴です。

平成26年10月から健康保険が適応されます。舌下すれば簡単に治ると思っている人の、問い合わせが多いので、今月号は、まず最初に「治療開始前に患者さんに納得して頂く要点」、質問の多い「有効性」を掲載します。次号に免疫療法の概略、治療法、副反応など掲載予定です。

### < 治療開始前に患者さんに納得して頂く要点 >

1. 自分はスギ花粉症と思っているけれども実際には20%の方がハンノキ等の花粉症のことがあるので、治療開始前に検査を行なう必要があります。
2. 花粉の飛散している期間も含め最低2年間、できれば3年以上は毎日継続して長期間の治療を受ける意志があること。WHOの見解書では3~5年を目安として毎日服薬することが推奨されています。
3. 患者さんが積極的に治療に参加する意志が長く継続できること。
4. 舌下アレルゲンエキスの服用(舌下に2分間保持)後の5分間は、うがい、飲食を控えることを毎日継続できること。
5. 少なくとも1ヶ月に1度の受診が可能であること、(薬剤発売1年以内は14日毎に通院)
6. 全ての患者さんに効果があるわけではなく、有効性が70%前後であることを理解してもらい、対症薬物療法のように即効性を期待して行うものではないこと。効果があった場合も、その効果が減弱する可能性があることを理解してもらう。
7. 副反応の対処法を理解してもらう(実際の治療前に医師から指導されます)。



### < 有効性 >

国内で実施したスギ花粉症患者を対象とした臨床試験において、有効性の主要評価項目である「総合鼻症状薬物スコア」が統計学的に有意に低下、スギ花粉症症状の軽減効果が確認されています。

1. 一定の期間にわたりアレルゲン免疫療法正確に行った場合、鼻や眼の症状が改善され生活の質の改善がみられます。
2. 咳あるいは気管支喘息の増悪などの症状に対して効果が期待できます。
3. 年単位で正確に行った場合、効果が長期間持続します。
4. 内服・外用する薬物の使用量を減らすことができる。また薬物療法の効かない場合も有効です。
5. 個々の患者さんの新規のアレルゲンに対する感作が抑制されます。
6. 喘息を発症していない小児アレルギー性鼻炎患者の、その後の喘息発症頻度が抑制されます。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏